JET 活躍の現場から

新居浜市における CIR の活動と多文化共生の取り組み
～ベトナム文化から広がる交流の輪～

―― 愛媛県新居浜市市民環境部地域コミュニティ課

愛媛県新居浜市の概要

愛媛県新居浜市は、四国の瀬戸内海側のほぼ中央に位置する、人口約 11 万人の都市です。1691 年の別子銅山開坑を契機に発展した住友グループの企業城下町であり、沿岸部に工場群が広がる四国有数の臨海工業都市となっています。

当市の外国人人口は、2026 年 3 月末時点で 2,016 人、総人口の 1.82％を占めています。国籍別ではベトナム人が最も多く、全体の 37％を占めており、就労関係の在留資格を持つ外国人住民が多いことが特徴です。

CIR の主な業務内容

当市では、2019 年 8 月から CIR を配置しており、2024 年 8 月から 2 代目 CIR として、ベトナム出身のレー・ティ・フオン・クイ氏が勤務しています。主な業務は、国際理解講座やベトナム文化関連イベントの実施、ベトナム語翻訳、SNS による情報発信、外国人住民からの相談対応などです。相談はベトナム人からの相談が最も多く、相談内容によっては市役所窓口に同行し、通訳を行うこともあり、外国人が安心して暮らせる環境づくりにもつながっています。

国際理解講座については、公民館や高校・高専からの依頼が多く、対象者やニーズに応じて内容を工夫しています。講座内容は、ベトナム文化の紹介だけでなく、ベトナム料理教室、外国人の視点を取り入れた人権に関する講座、子ども向けのゲームや工作を取り入れた講座など、幅広い内容で実施しています。

クイ CIR は、自身の経験や母国文化を分かりやすく伝えることで、参加者がベトナムを身近に感じ、多文化共生について考える機会を提供しています。また、新居浜市国際交流協会や市内ボランティア団体のイベントにも積極的に参加し、通訳や参加者同士の交流支援を行っています。

レー・ティ・フオン・クイ CIR（ベトナム出身）

公民館でのベトナム文化講座の様子

ベトナム文化イベント

新居浜市国際交流協会では年 2 回ベトナム文化イベ

「ベトナム中秋節～つくって、あそぼう！～」の様子

「テト祭りを楽しもう！」でボランティアとともにダンスを披露する様子

ントを開催しており、クイ CIR は中心となって企画立案からチラシ作成、会場準備、当日の司会・進行まで幅広く担当しています。

2025 年 10 月に開催した「ベトナム中秋節～つくって、あそぼう！」は、小中学生を対象としたイベントです。文化紹介に加え、自身で翻訳した紙芝居の朗読、伝統菓子の試食、ランタン制作などを行い、子どもたちが楽しみながらベトナム文化に触れられる内容としました。また、会場装飾にも工夫を凝らし、ベトナム人と日本人のボランティアと協力して、ベトナムらしい雰囲気を演出しました。参加した子どもたちは異文化への関心を深め、ボランティアにとっても文化交流に参加する機会となりました。

また、2026 年 2 月に開催した「ベトナム旧正月テト祭りを楽しもう！」では、多くのベトナム人ボランティアと協力しながら、テト料理の試食や伝統料理であるちまき作り体験などを実施しました。当日は、参加者がベトナム文化を体験するだけでなく、文化体験を通じて自然な会話や交流が生まれ、本市に暮らすベトナム人と直接交流する機会にもなりました。

これらのイベントは、単なる文化紹介にとどまらず、外国人住民が地域活動に主体的に関わるきっかけにもなっています。また、クイ CIR の企画力や調整力により、参加者、ボランティア、地域の国際交流団体をつなぐ取り組みとなっています。

終わりに

当市の国際化を進めるうえでは、日本人住民が異文化への理解を深めることと、外国人住民が安心して暮らせる環境づくりの両方が重要です。

クイ CIR の活動は、ベトナム文化の紹介にとどまらず、本市に暮らす日本人と外国人が互いを知り、交流するきっかけとなっています。また、母国語による情報発信や相談対応は、外国人住民の生活支援にもつながっています。

今後も、地域の国際理解を深めるとともに、外国人住民が地域の一員として活躍できる多文化共生のまちづくりを進めるうえで、より一層の CIR の活躍を期待しています。

防災イベントでの通訳の様子